



2016年9月期 第1四半期 決算補足説明資料

2016年2月5日 株式会社フィックスターズ（東証マザーズ3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があります。あることをご承知おきください。

2013年9月期の四半期売上高および利益については、有限責任 あずさ監査法人の四半期レビューおよび監査を受けたものではありません。



2016年9月期 第1四半期 決算概要

2016年9月期 通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略



2016年9月期 第1四半期 決算ハイライト

業績

■ 期初計画を上回り好調に推移

売上高： **1,059百万円**（通期予想達成率 **26.3%**、前年同期比**+27.0%**）

営業利益： **181百万円**（通期予想達成率 **28.8%**、前年同期比**▲15.5%**）

■ 期初計画通りに大容量高速ストレージ事業向け投資を継続

■ ソフトウェア・サービス事業

フラッシュメモリ関連サービスが引き続き成長を牽引

■ ハードウェア基盤事業

画像処理プロセッサ搭載演算ボードの量産納入が長期継続中
大容量高速ストレージが売上伸長に寄与

■ 大容量高速ストレージ事業

配信用サーバー用途を中心に取引を拡大

顧客ニーズに合わせたカスタマイズ品の製品開発案件も拡大

世界最大容量を誇る13TB/10TBの「Fixstars SSD-13000M/10000M」
を発表（2016年1月13日発表）

セグメント 別概況

成長加速へ の取り組み



2016年9月期 第1四半期 決算概要 – 損益計算書 –

- **期初計画を上回り**好調に推移。四半期ベースで初めて売上高10億円を突破
- 期初計画通りに大容量高速ストレージ事業向け投資を継続

(単位：百万円)

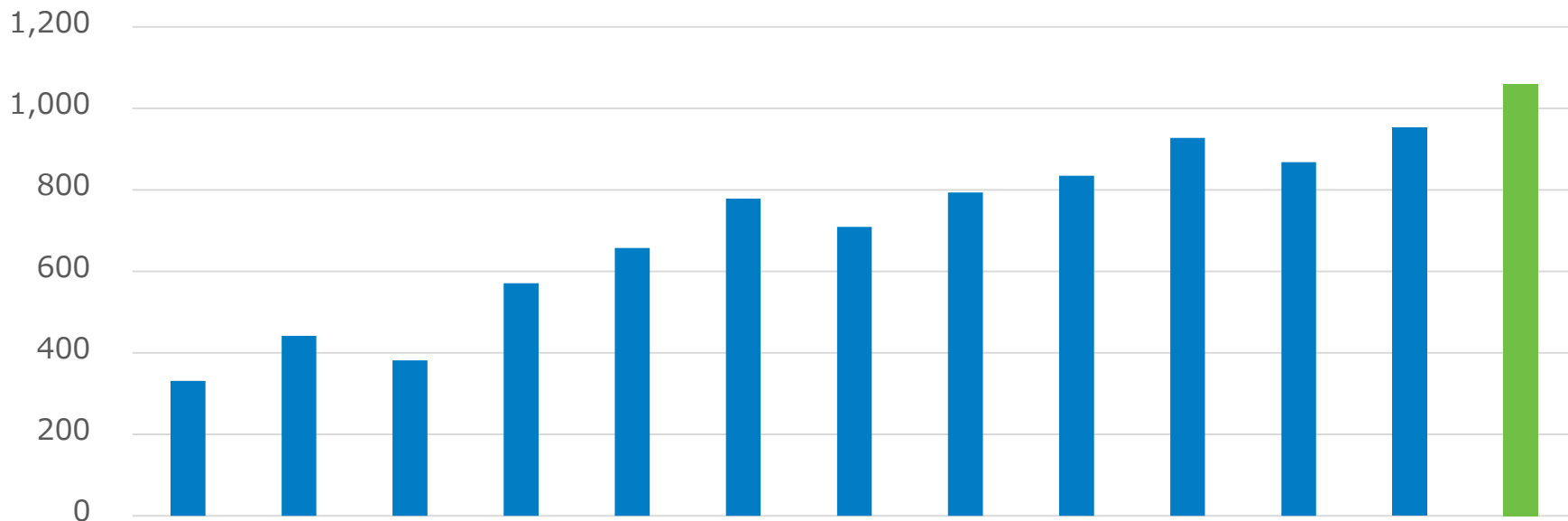
項目	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	当期 通期予算
売上高	834	1,059	+224	+27.0%	4,031
営業利益	214	181	▲33	▲15.5%	630
売上高 営業利益率	25.8%	17.1%	▲8.6%	-	15.6%
経常利益	216	181	▲35	▲16.2%	625
売上高 経常利益率	26.0%	17.1%	▲8.8%	-	15.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	144	128	▲15	▲10.9%	447

業績推移 - 売上高 -

- 第1四半期(2015/10~12) : **1,059百万円** (前年同期比 **+27.0%**)
- ソフトウェア・サービス事業、ハードウェア基盤事業ともに成長に貢献

四半期売上高の推移

(単位：百万円)



	2013/09				2014/09				2015/09				2016/09
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	331	441	381	570	657	778	708	793	834	927	868	952	1,059

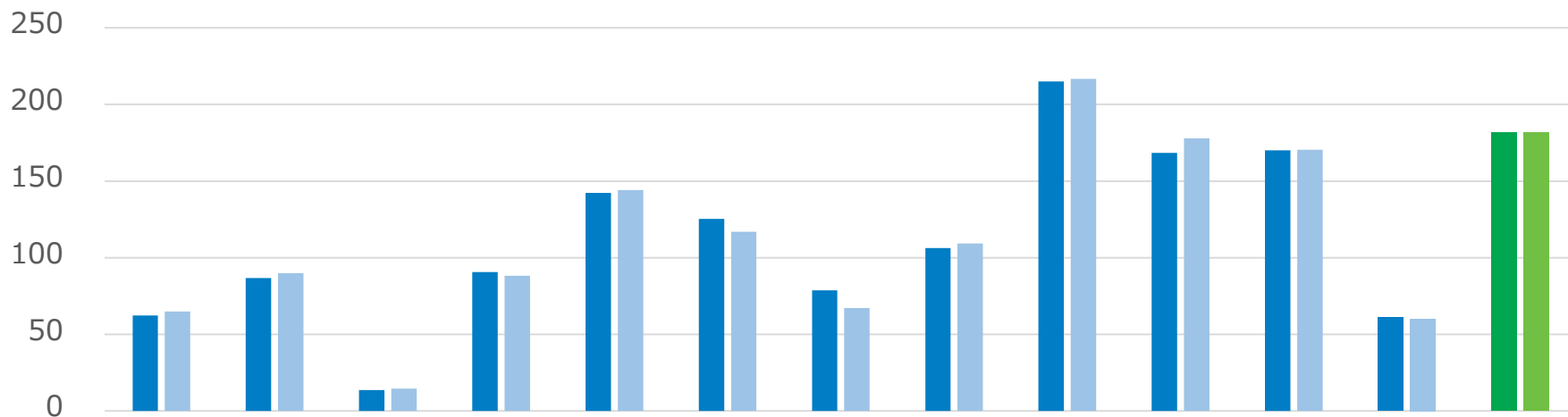


業績推移 – 営業利益・経常利益 –

- 第1四半期(2015/10~12) 営業利益： **181百万円** (前年同期比 **▲15.5%**)
 経常利益： **181百万円** (前年同期比 **▲16.2%**)
- 期初計画通りに投資を実行しつつ、利益を高水準で確保

四半期利益の推移

(単位：百万円)



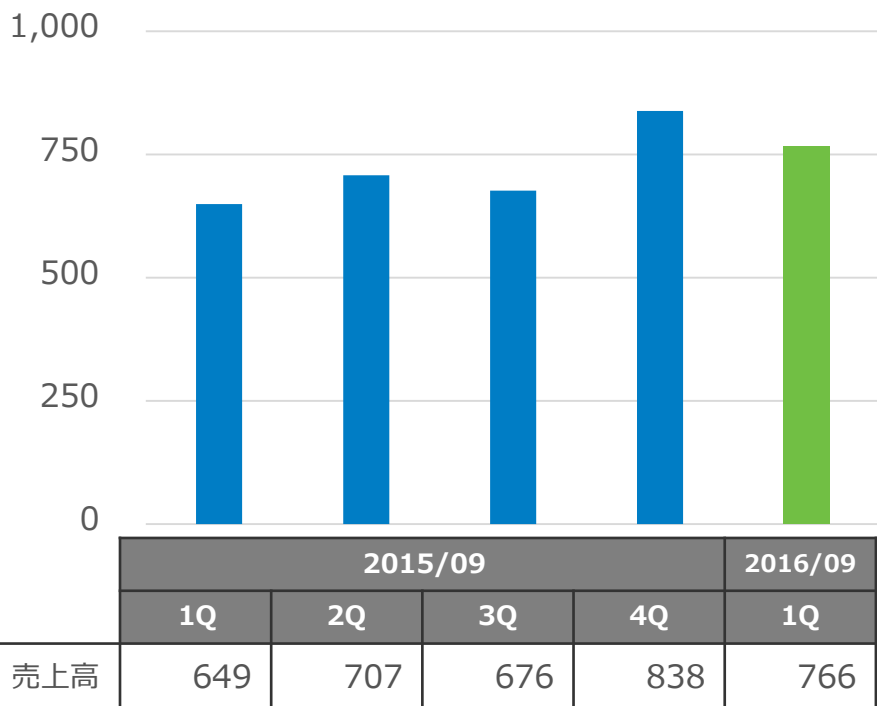
	2013/09				2014/09				2015/09				2016/09
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益	62	86	13	90	142	125	78	106	214	168	170	61	181
経常利益	64	89	14	88	144	116	67	109	216	177	170	60	181

業績推移 – ソフトウェア・サービス事業 –

- 売上高： 第1四半期 **766百万円** (前年同期比 **+18.1%**)
 利益： 第1四半期 **158百万円** (前年同期比 **▲19.0%**)
- フラッシュメモリ関連サービスを中心に安定して成長

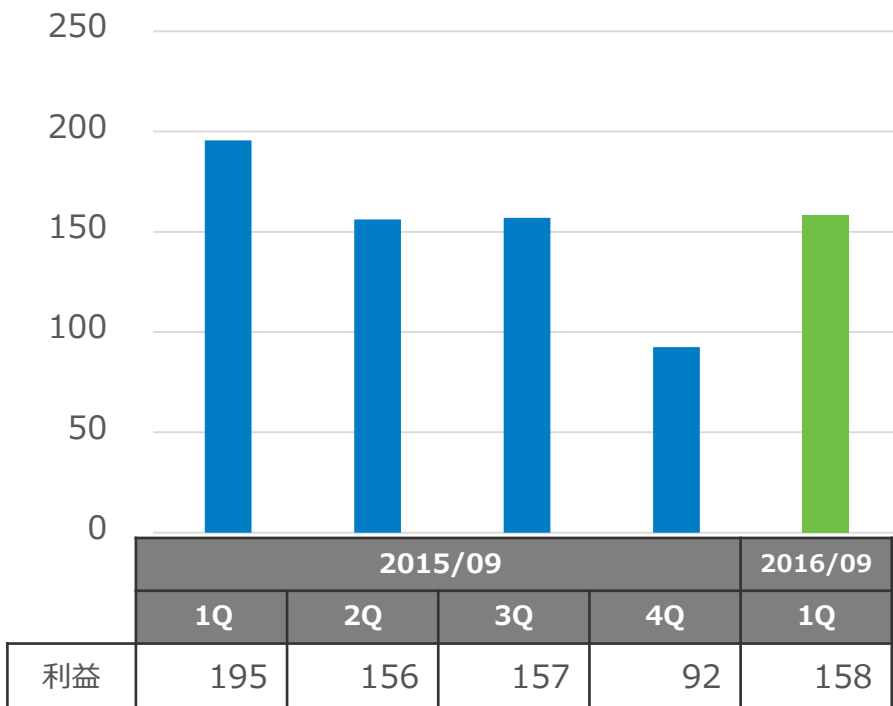
売上高の推移

(単位：百万円)



利益の推移

(単位：百万円)



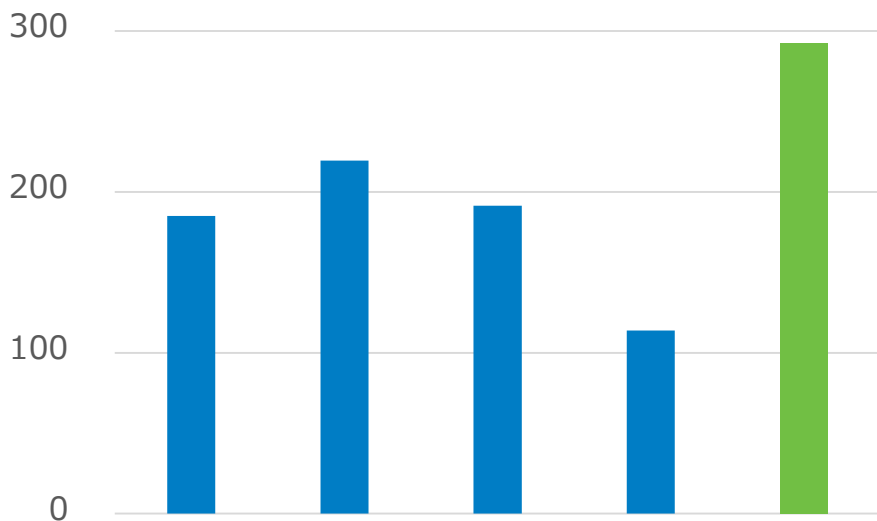


業績推移 - ハードウェア基盤事業 -

- 売上高： 第1四半期 **292百万円** (前年同期比 **+58.1%**)
利益： 第1四半期 **23百万円** (前年同期比 **+20.6%**)
- 画像処理プロセッサ搭載演算ボードが引き続き安定して収益貢献
- 大容量高速ストレージが配信用サーバー用途を中心に取引拡大

売上高の推移

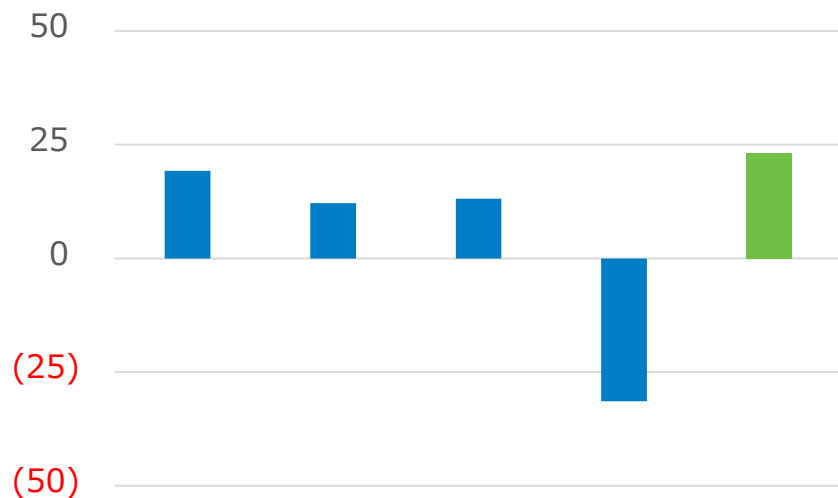
(単位：百万円)



	2015/09				2016/09
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	185	219	191	113	292

利益の推移

(単位：百万円)



	2015/09				2016/09
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
利益	19	12	13	▲31	23



2016年9月期 第1四半期 決算概要 – 貸借対照表 –

- 総資産 2,335百万円、自己資本 1,844百万円（自己資本比率 79.0%）
- 昨年度から続き大容量高速ストレージ関連のたな卸資産を保有

（単位：百万円）

	2016年9月期 第1四半期	2015年 9月期	前期比増減額
流動資産	2,131	2,341	▲210
(現預金)	867	1,131	▲263
(商品及び製品)	122	118	+4
(原材料)	114	111	+3
固定資産	204	201	+3
総資産	2,335	2,542	▲206
流動負債	476	690	▲213
固定負債	10	10	-
純資産	1,848	1,842	+6
負債+純資産 合計	2,335	2,542	▲206



2016年9月期 第1四半期 決算概要

2016年9月期 通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

2016年9月期 通期 業績予想のポイント

業績

- 売上、利益ともに過去最高を予想

売上高： **4,031百万円**（前期比 **+12.5%**）
営業利益： **630百万円**（前期比 **+2.5%**）

ソフトウェア ・サービス 事業

- マルチコア高速化サービス

引き続き車載分野を中心に画像処理関連案件が好調の見込

- フラッシュメモリ関連サービス

フラッシュメモリ関連サービスが継続して収益貢献する見込

ハードウェア 基盤事業

- 画像処理プロセッサ搭載演算ボード販売

昨年度と同様、安定需要が継続する見込

- 大容量高速ストレージ事業

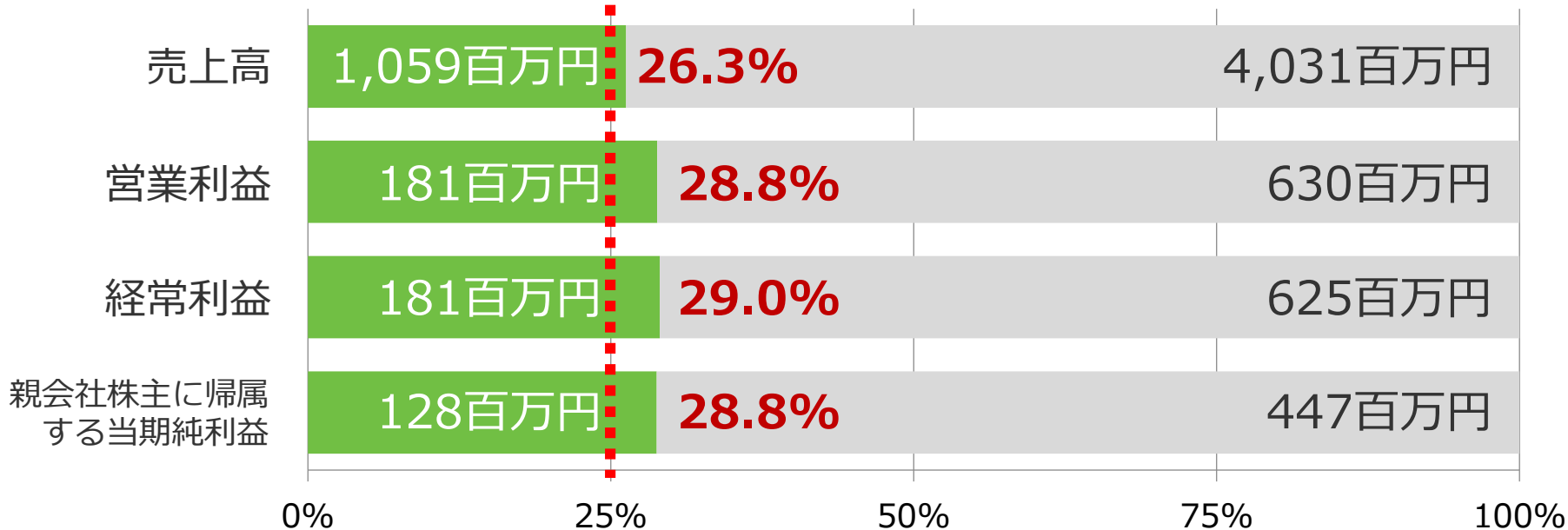
次期戦略事業と位置づけ、積極投資を継続

研究開発費は昨年度実績203百万円と同程度の見込

通期売上高は340百万円と昨年度実績110百万円から大幅増の見込

2016年9月期 通期 業績予想

2016年9月期 業績予想の進捗率



配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2016年9月期 予想	20円	67円56銭	29.6%
2015年9月期 実績	20円	68円32銭	29.6%
2014年9月期 実績	12円	46円31銭	28.3%



2016年9月期 第1四半期 決算概要

2016年9月期 通期 業績予想

当社の紹介と成長戦略

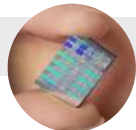




フィックスターズとは？

事業内容	マルチコアプロセッサ関連事業
設立	2002年8月
資本金	5億3,371万円（2015年12月末 現在）
社員数	134名（2015年12月末 現在）
所在地	大崎（本社）、横浜
代表取締役社長	三木 聡
連結子会社	Fixstars Solutions, Inc.（米国カリフォルニア州、100%子会社） 株式会社アイ・イー・テック（株式会社SHIFTとの合併会社、当社出資比率:66%）
主な取引先	東芝、キャノン、日立メディコ、日立ハイテクノロジーズ、オリンパス、みずほ証券、日立アロカメディカル、宇宙航空研究開発機構など



マルチコアプロセッサ／フラッシュメモリを駆使して
大量計算や大量データI/Oの高速処理を実現するソフトウェア・パートナーです

フィックスターズの歩み

2002年	8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立	
2002年	10月	株式会社フィックスターズに組織変更	
2004年	7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始	
2006年	12月	PlayStation®3の発売を受け、「PS3® Information Site」を立ち上げる	
	10月	100%子会社として、Fixstars Solutions, Inc.を米国カリフォルニア州に設立し、米国Terra Soft Solutions Inc.よりYellow Dog Linux事業を譲り受ける	
2010年	11月	米国空軍研究所に、PlayStation®3を用いた高速クラスタシステムを導入	
2010年	12月	NEDOの「低消費電力メニーコア用アーキテクチャとコンパイラ技術」開発事業に採択	
2013年	6月	株式会社東芝から1億円の出資を受ける	
2014年	4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場	
	7月	大容量高速ストレージ製品3TB SSD『Fixstars SSD-3000M』を発表	
	10月	北米地域の業容拡大を目的とし、カナダに孫会社設立	
	11月	株式会社アバールデータと業務・資本提携	
2015年	2月	北米において大容量高速ストレージ製品の販売を開始	
	5月	さらなる大容量化を実現した6TB SSD『Fixstars SSD-6000M』を発表	
	9月	レノボ・ジャパン株式会社が大容量高速ストレージ製品をオプション製品として取扱開始	
	10月	品質保証分野での機械学習技術の応用を目的とし、株式会社SHIFTと合併会社アイ・イー・テックを設立	
2016年	1月	SATA 2.5" SSDで世界最大容量の13TB SSD『Fixstars SSD-13000M』を発表	



外部環境：当社事業領域におけるテクノロジーの進化

今まで以上のスピードで、今まで以上のインパクトを
人々の生活に与えつつテクノロジーが進化



映像機器
4k/8k
ハイスピード
カメラ



医療
ゲノム解析
高画質
MRI/CT



モバイル
スマートフォン
タブレット



車載機器
ADAS
(先進運転
支援システム)



ビッグデータ
IoTデータ収集
機械学習



産業機器
製造検査装置
Industry4.0



金融
デリバティブ
リスク管理

外部環境：複雑化するコンピューター技術

テクノロジーの進化の実現のためコンピューター技術はより複雑化
最先端ハードウェアと最適なソフトウェアの両方がキーに

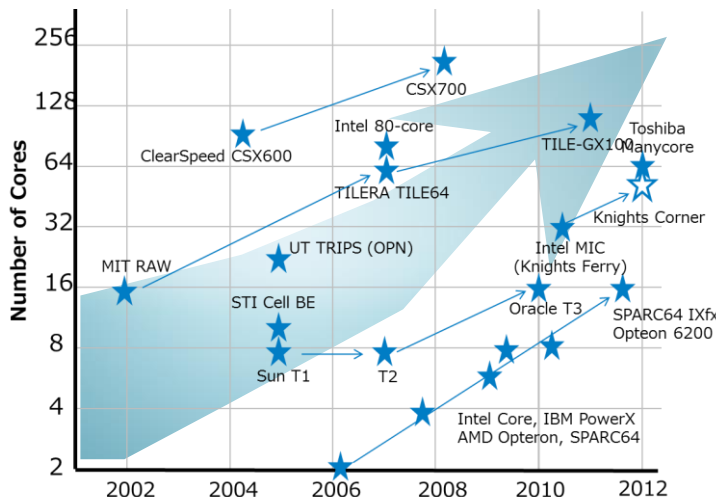
マルチコア化

ハード
ウェア

発熱と消費電力の問題により、シングル
コアからマルチコアへ進化の形が変化

ソフト
ウェア

複数のコアでプログラムが実行されるた
め、コア間の同期や最適化を制御

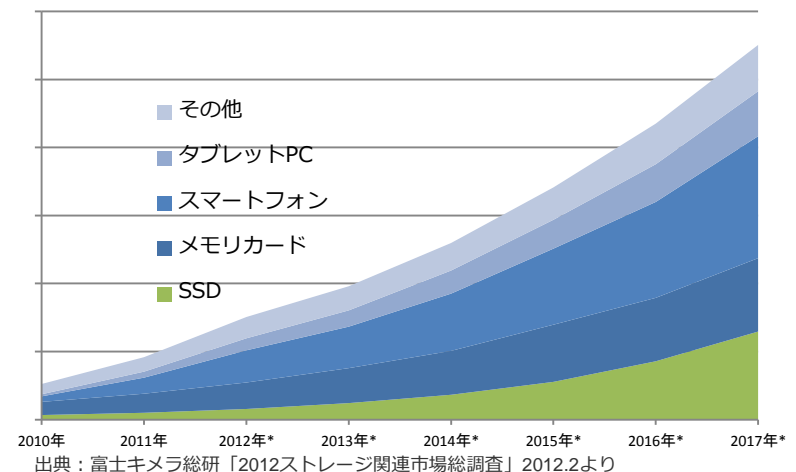


CPUに搭載されるコア数の推移

メモリ高速化

メモリ単価の低減等により、HDDからSSD
等のフラッシュストレージへの移行が加速

HDDに比べて短い寿命等のデメリットを、
ソフトウェア制御により解消



フラッシュメモリの需要推移

顧客製品の研究段階から量産・販売までソフトウェア・サービスとハードウェア両方によるトータルソリューションを実現

フィックスターズの提供サービス

ソフトウェア・サービス

共同研究

コンサルティング

最適化

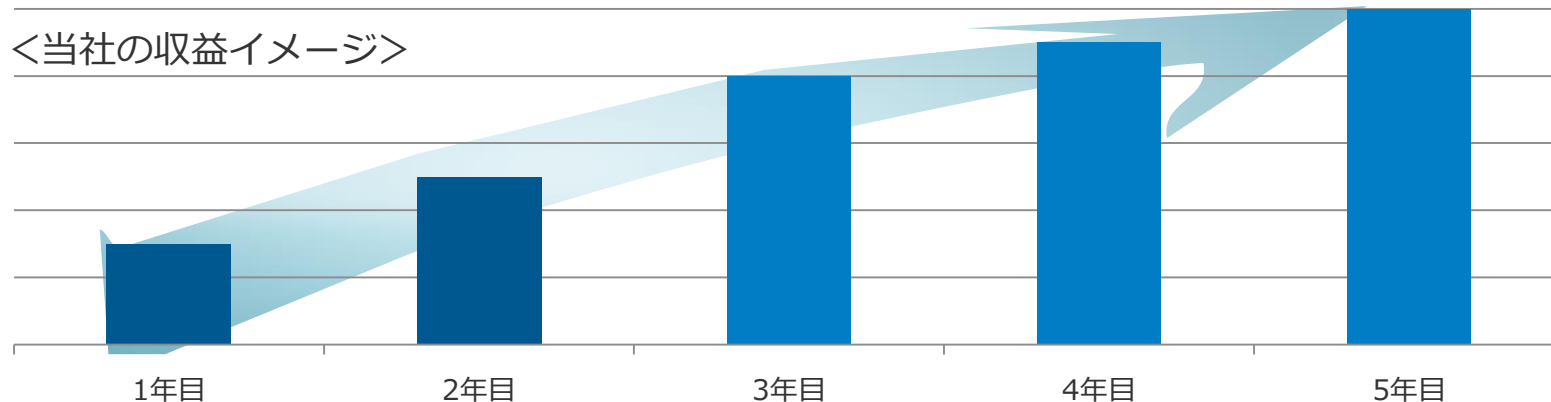
サポート

ハードウェア/ソフトウェア ライブラリの販売・サポート

部材提供

保守

<当社の収益イメージ>



1年目

2年目

3年目

4年目

5年目

研究

製品開発

製品量産・販売

お客様の製品ライフサイクル

当社のソリューション：ソフトウェア・サービス

組込み製品を中心にマルチコア、メモリの性能を高く発揮



弊社

オリジナルソースコードのご提供

最適化サービス



お客様

コンサルティング

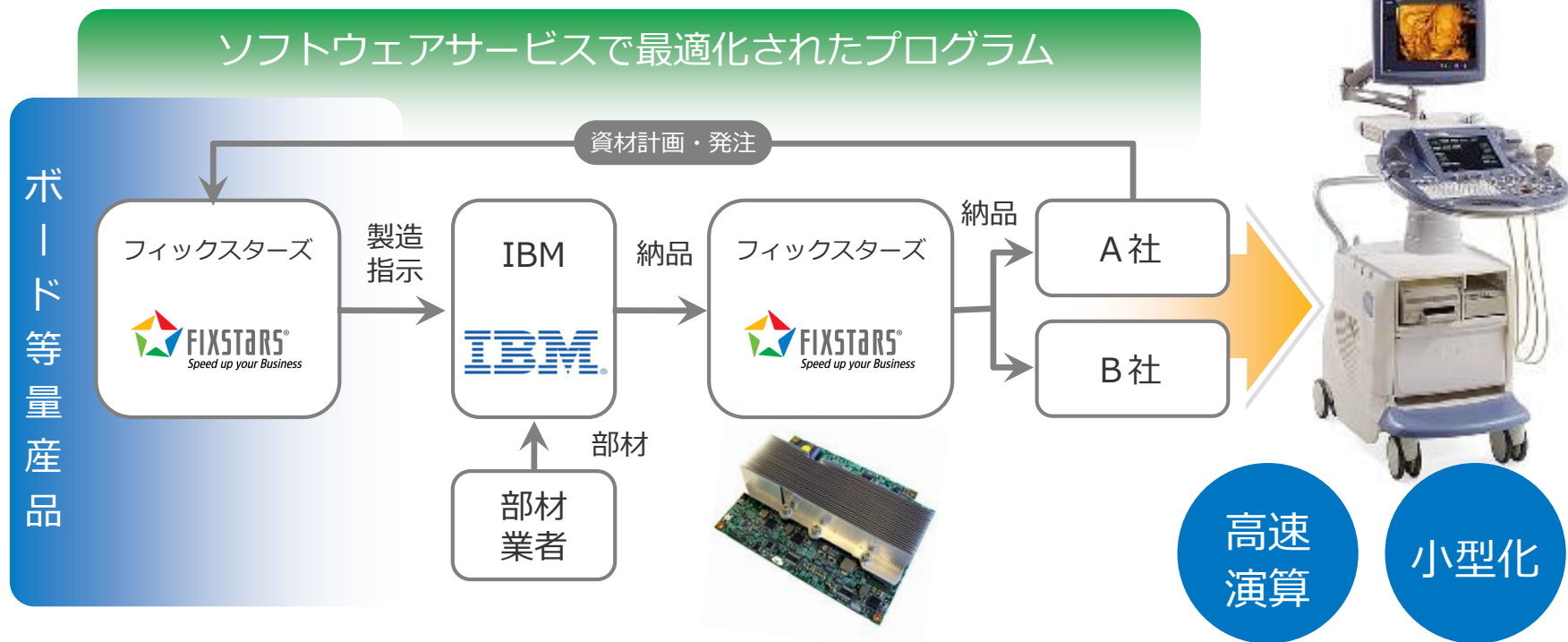
移植・最適化

サポート

- 性能評価
- ボトルネックの特定
- ハードウェア選定
- マルチコアへの移植
- ソフトウェア最適化
- レポート
- 実製品への組み込み支援
- 技術トランスファー
- ハードウェア提供

当社のソリューション：ハードウェア基盤

最適な機器を選定して提供し、
ソフトサポートとハイブリッドでWin-Win関係を構築



★ 当社のソリューション：機械学習によるソフトウェアテスト

機械学習をソフトウェアテストの分野に応用
同分野で知見のある株式会社SHIFTと合併会社アイ・イー・テックを設立

ソフトウェアテストといえば

SHIFT

(出資比率：34%)

開発・不具合データ
テストング業務のノウハウ

 **FIXSTARS**[®]
Speed up your Business

(出資比率：66%)

機械学習システムの構築



大量データ

機械学習

テスト
アクティビティ

★ 当社のソリューション：大容量高速ストレージ

次期戦略製品と位置づけ積極投資を継続
エンタープライズ向けに特徴あるストレージを開発・販売

圧倒的大容量

同一フォームファクタで世界最大容量を実現した13TB版をはじめ、ビッグデータの時代に求められる製品ラインナップを拡充



安定した
転送速度

性能低下を防ぐ独自ソフトウェア制御により、連続して使用してもコマ落ちなく一定の読込・書込速度をキープ



様々なカスタマイズ
に対応可能

顧客ニーズに合わせ、容量、速度、信頼性、耐久性等をカスタマイズ可能
また、顧客製品に最適なストレージの製品開発にも対応



当社製品の特性である大容量と安定した転送速度が求められ、
かつ大手プレイヤーの少ない分野に特化

ランダムアクセス重視

シーケンシャルアクセス重視

エンタープライズ

リレーショナルデータベース

データウェアハウス
デスクトップ仮想化

ターゲット市場

映像撮影・編集

配信用サーバー

組み込みシステム

コンシューマー

PC等

ランダムアクセス：読込・書込をしたいデータの場所を割り出し、直接その場所にアクセスする方法

シーケンシャルアクセス：データを先頭から順番に読込・書込する方法

4k/8kといった高精細映像撮影で不可欠なコマ落ち防止を実現
映像編集でもHDD使用時に比べTCOの削減に寄与

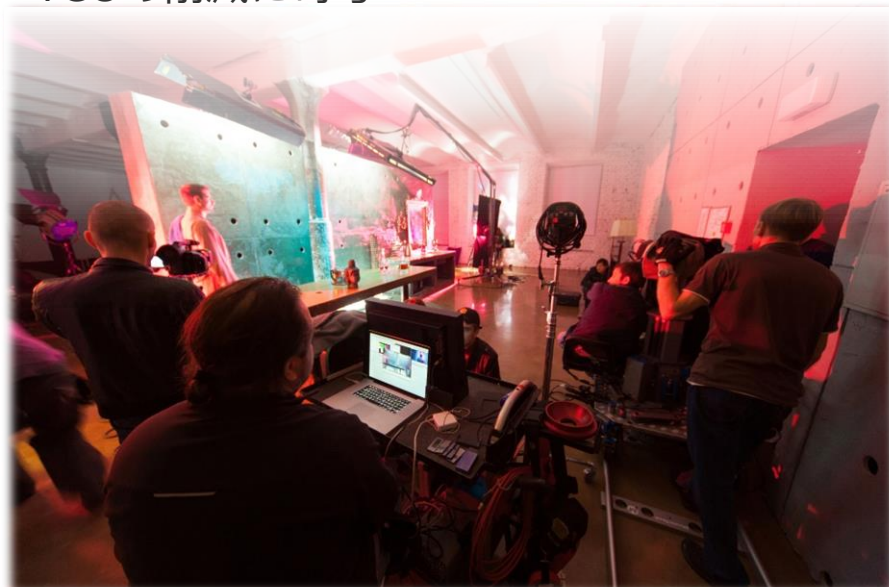
映像撮影

4k/8k、ハイスピードカメラ等の高精細映像撮影向けレコーダーで使用
大容量、安定した転送速度により大量映像データのコマ落ちなしでの撮影を実現



映像編集

NUKEユーザーなど、大量映像データを使用するポストプロダクションで使用
TCOの削減に寄与



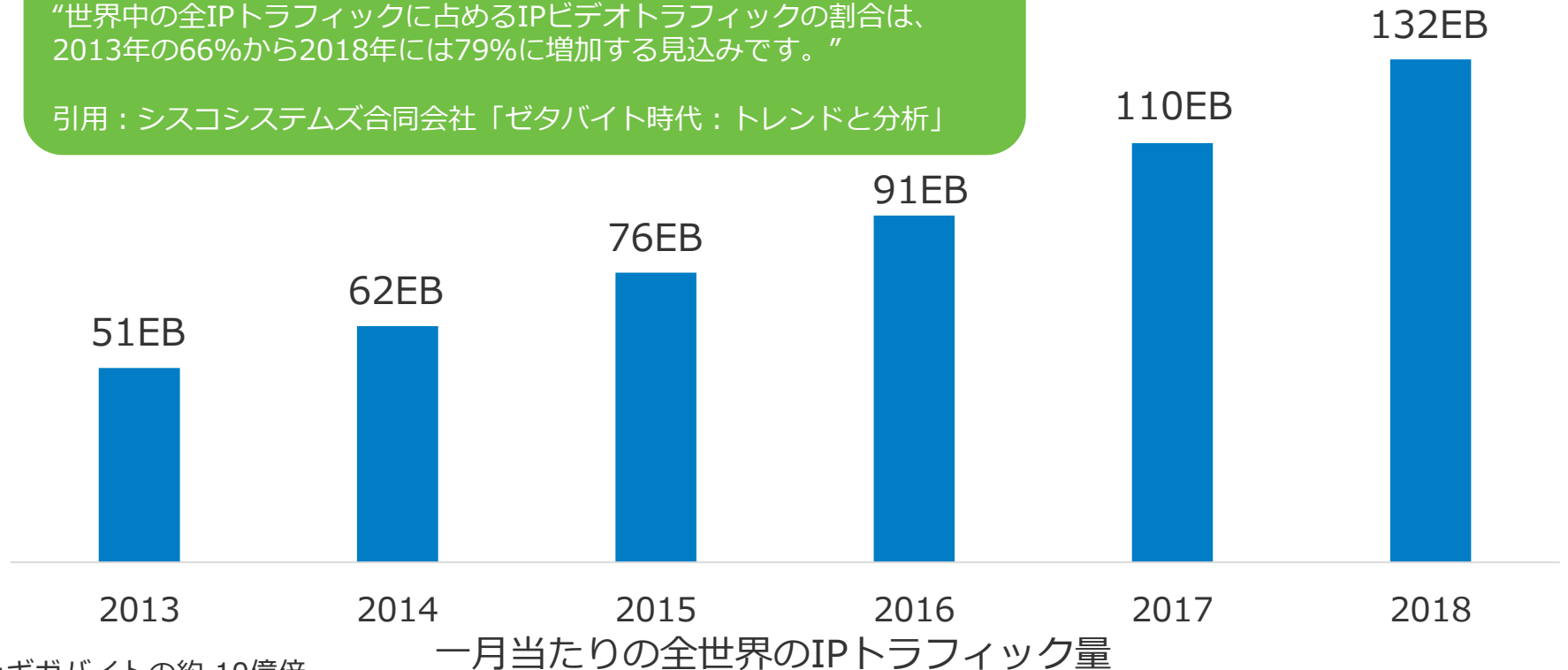


大容量高速ストレージ事業の重点分野：配信用サーバー

ストリーミングやCDNサーバーといった配信用サーバーでは、急増するトラフィックを連続して処理できるストレージが必要

“2018年には、今までに作成された全ての動画に相当するギガバイト量が、3分ごとに全世界のインターネットを通過するようになります。”
“世界中の全IPトラフィックに占めるIPビデオトラフィックの割合は、2013年の66%から2018年には79%に増加する見込みです。”

引用：シスコシステムズ合同会社「ゼタバイト時代：トレンドと分析」



一月当たりの全世界のIPトラフィック量

*EB:ギガバイトの約 10億倍

*CDN: Content Delivery Network

出典：シスコシステムズ合同会社「ゼタバイト時代：トレンドと分析」

大容量高速ストレージ事業の重点分野：組み込みシステム

大量データの連続処理が求められる、監視カメラシステム、医療機器、産業機器等の組み込みシステムでも需要が見込まれる



監視カメラシステム

画像の高精細化、解析の高度化により、必要とするストレージ容量が増大



医療機器

よりリアルな画像を、よりリアルタイムに表示することができるストレージが必要



産業機器

製造現場で発生する多様な大量データを、即座に分析しフィードバックできるストレージが必要



ソフトウェア技術を通じて
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、
フィックスターズの技術を活かして
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました